

消防団たずね歩き

「須磨消防団第 6 分団紹介」

須磨第 6 分団について紹介します。須磨第 6 分団は、現在 17 名の団員が地域の消防団活動に励んでいます。この数年で新旧 5 名ずつの団員の入れ代わりがあり、平均年齢が大幅に下がってスキル的には少し低下しましたが、体力面ではかなりパワーアップしています。この先、訓練や経験を積み重ねてスキルアップし、地域や須磨消防団のために尽力してほしいと思います。

6 分団は須磨区内南西部に位置し、管轄内には歴史的に由緒ある須磨寺や綱敷天満宮、関西最大級の規模を誇る海水浴場である須磨海岸などがあります。

詰所は須磨寺の参道沿いにあり、毎月 20 日、21 日はお大師さんの日で多くの方がお参りに来られます。寺には源平の史跡や国指定の重要文化財もあり、多くの文化財や寺宝を宝物殿で見ることができます。

天神様として有名な綱敷天満宮は、全国で 1 万社以上ある天満宮の中で二十五霊社のひとつとして歴史が古く由緒正しい神社です。その御神輿を巡行するときの担ぎ手は須磨浦の若い漁師たちですが、

そのうち 5 名が 6 分団の団員です。

須磨海岸は阪神間で最大級の海水浴場で、夏には多くの方が訪れます。昨年、海岸の遠浅化や、遊歩道や公衆トイレの整備等、大幅に改修され明るくきれいな場所になりました。これで益々安全で家族連れが楽しめる海水浴場になったと思います。

また、この地域の住宅街は道幅が狭く家も密集して建っているため、火事になると大変な事になります。6 分団としては地域の皆様の防火に対する意識と注意を高めていただけるような活動をしていきたいと思っています。

須磨寺も天神さんも山や海も、そして須磨の街並みも全てかけがえのないものです。須磨第 6 分団は精進を重ね微力ながら地域を火災等の災害から守るため頑張っていきたいと思っています。

(須磨第 6 分団 分団長 前田尚紀)